

令和 6 年度 県立大子特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	「持続可能で 選ばれる 地域共生型学校」 <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能・・・安心で安全な教育環境を保持し、社会環境の変化に応じた教育実践を提供し続ける学校 ・選ばれる・・・地域の特別支援教育の中核として、質が高く魅力のある教育環境を提供し続ける学校 ・地域共生・・・コミュニティスクール制度を生かし、地域づくりと学校づくりの一体的推進に取り組み続ける学校 					
昨年度の成果と課題		重点項目	重点目標		達成状況	
1 「学びがい」の推進 (1) 成果 ・個別最適な学びのための効果的な ICT 活用 (2) 課題 ・学校研究による教科指導の事業実践力の向上		1 「学びがい」の推進	① 指導の個別化と学習の個性化による個別最適な学びの実現 ② 体験が関連づいた教科等横断的な学びやすいカリキュラム実現 ③ 障害特性の考慮と知見や根拠に基づいた、わかりやすい授業実践			
2 「働きがい」の推進 (1) 成果 ・地域人財との交流や協働体制の確立と拡充 (2) 課題 ・自立と社会参加に資するキャリアパスポート活用		2 「働きがい」の推進	① 地域貢献や共同参画を意図した学習活動による心の教育の充実 ② 自立した生活者として必要な自己管理能力や規範意識の向上 ③ 社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度の育成			
3 「頼りがい」の推進 (1) 成果 ・積極的な情報発信と校内外の教育相談の充実 (2) 課題 ・実際の防災対応能力向上のための防災学習改善		3 「頼りがい」の推進	① 健康・安全に関する能力及び実践態度を育成する教育の充実 ② 学校危機に対応する学校環境の整備と、防災安全教育の充実 ③ 地域における特別支援教育のセンター的機能の発揮			
4 「生きがい」の推進 (1) 成果 ・授業準備時間の確保と勤務時間の適正化の両立 (2) 課題 ・授業や各種行事への保護者・サポーターの協力推進		4 「生きがい」の推進	① 健康で豊かな生活をおくるための生涯スポーツの享受 ② 生活の質の向上と余暇の充実につながる文化芸術活動の充実 ③ 教育が生きがいの教員と協働が生きがいの保護者等の共育実現			
評価項目	具体的目標	具体的方策		重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・体験と教科学習が効果的に関連づいた学びやすく特色ある教育課程の創出 ・わかりやすい授業構想力と実践力の向上を目指した校内研修体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程検討委員会を主体に、体験と教科学習が効果的に関連づける学習計画と、実践成果等に係る形成的評価をとおして、教育課程の改善を図る。 ・単元配列表の作成・運用をとおして教職員の授業構想力を高め、計画訪問等の機会に授業実践力の向上に資する指導助言を要請し、専門性向上を図る。 		1-①・③ 2-① 3-③ 4-①・②		

教職員の育成及び指導・監督	<ul style="list-style-type: none"> 地域とともにある学校づくりの主体として、当事者意識が高く協働的な授業づくりに取り組める学校組織 	<ul style="list-style-type: none"> グランドデザインを周知徹底し、主な手段であるコミュニティースクール・チャレンジ 2024 と分掌部等の目標、自己申告書の目標を確実に関連づける。 育成を目指す子ども像の3要素を、自分の授業実践と評価に生かすことを毎日の基幹業務として意識づけ、学校研究において成果や課題を校内で共有する。 	1-②・③ 2-① 4-③			
対外活動	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会での熟議をとおした地域連携につながる提案の実現 常陸大宮市の中学校区を単位とした特別支援教育の向上の為に学校間連携 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会において、学校側から課題や要望等を提案し、課題解決に資する具体的方策に焦点化した熟議ができるよう作業部会が主となり運営する。 常陸大宮市での特別支援教育推進体制構築事業に参画し、地域の学校における特別支援教育コーディネーターの資質向上に資する連携体制を構築する。 	1-①・② ③ 2-①・③ 3-①・③ 4-③			
コンプライアンス確保	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理能力と規範意識が高く、保護者や地域からの信頼度が高い教職員集団の確立 	<ul style="list-style-type: none"> リスク・クライシスマネジメント（各種マニュアルの適宜改変、施設の安全点検と改修、避難・防災訓練、安全教育、職員のコンプライアンス研修、教職員によるCSR活動）を徹底する。 	2-① 3-③ 3-③			
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の成長に生きがいを見出し、授業づくりにかかる時間確保のための業務精選 	<ul style="list-style-type: none"> AttRecの結果を教職員個々が分析・評価し、授業づくりに係る時間以外の業務を見直し可能な限り削減することで、授業準備に充てる時間を捻出する。 	1-①・② ③ 4-③			
ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> 各種体験活動において、児童生徒全員の活動参加を可能にするICTの駆使 	<ul style="list-style-type: none"> 活動参加が難しい児童生徒の実態把握から、実地・遠隔両面で参加を可能にするための仕組み（VR, AR等）を外務専門家等の協働をとおして具現化する。 	1-①・③ 2-①・③			

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない